「とよがわ流域圏こども会議」の開催概要

1. 開催趣旨

国土交通省豊橋河川事務所では、平成13年11月に策定されました「豊川水系河川整備計画」(大臣管理区間)における「豊川流域圏一体化への取り組み」(別紙1)を受け、平成14年度より、「とよがわ流域圏こども会議」を開催しています。

「とよがわ流域圏こども会議」は、私たちが生活する上で欠かすことができない「とよがわの水」を将来に引き継ぐため、とよがわに関係する地域の皆さんの交流を通じた取り組みの一環として、次世代を担うこどもたちが主役になり、実施してきました。

これまで豊川流域圏の延べ30校(平成14年度7校、平成15年度10校、平成16年度7校、平成17年度6校)が参加し、参加した児童、教師の皆さんからも「良かった」との評価を頂いております。

今年も引き続き、第5回目となる「とよがわ流域圏こども会議」を、平成18年11月11日(土)に、ライフポートとよはし(豊橋市)で開催致します。今回は、従来までの「発表会」に加え、参加児童全員がもっと自由に発言できるように「ワークショップ」を実施します。また、今回参加できなかった小学校の教師に参加を呼びかけ、豊川流域圏の小学校間との交流・ネットワークを進めていきます。

2. 開催内容

① 発表会(時間:午前10時~正午 場所:女性会館(第1~3研修室))

小学校ごとに、とよがわの水生物調査結果や、参加小学校における森・川・海に関する環境保全活動等について元気に発表してもらい、参加小学校と意見交換等を行います。また、参加児童をいくつかの班に分け、グループ対抗の「流域圏クイズ」を行います。

各小学校の発表タイトルは次のとおりです。

- ・設楽町立清嶺小学校・・・水のふるさとを大切に ―守りたい きれいな豊川―
- ・新城市立鳳来西小学校・・・みんな大好き寒狭川 ～5年間の水の流れを追って～
- ・新城市立舟着小学校・・・とりもどそう！ぼくらのきれいな豊川
- ・豊川市立東部小学校・・・豊川と私たち
- ・豊川市立天王小学校・・・豊かな豊川の水で米作り
- ・豊橋市立大村小学校・・・ぼくらのTOYOGAWA

※発表タイトルは、当日変更する場合がありますことを申し添えます。

② ワークショップ(時間:午後0時30分~2時30分 場所:女性会館(第1~3研修室、和室、会議室)、勤労青少年ホーム・労働会館(第1~3会議室))

このワークショップは、これからの川の環境保全・維持を考えていくには、「森・川・海」が相互に繋がっており、上流~下流の流域圏全体でお互いに連携しあって解決することが必要であることを、参加児童全員に考えていただくために実施するものです。(ワークショ

ップのテーマは、当日発表します。)

ワークショップでは、NPO・市民団体の進行のもと、グループごとに参加児童全員で意見交換し、意見交換の結果をこどもたちが発表します。

※ 午前中の「発表会」は、どなたでもご自由に入場できます。

午後から行います「ワークショップ」は、事前に申し込みいただいたとよがわ流域圏内の教育関係者に限定しております。とよがわ流域圏内の教育関係者の皆様の『参加申し込み』は、下記ホームページ（国土交通省豊橋河川事務所）をご覧ください。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/>

3. 問い合わせ先

国土交通省豊橋河川事務所 調査課長 溝口敏明、計画係長 星 典行

(TEL : 0532-48-8107)

なお、こども会議の開催については、下記機関に委託していることを申し添えます。

(社) 東三河地域研究センター 馬、渡邊、佐藤、加藤 (TEL : 0532-47-3300)

以上

豊川流域圏一体化への取り組み

豊川を母なる川とし、風土、文化を共有する東三河地域等の上流域と下流域が共存、共栄できるよう、水源域となる上流域と、水供給の恩恵を受ける下流域の相互理解と協力関係を深めながら、次の取り組みを行う。

水源域の森林保全への取り組みについては、森林の水源かん養機能、土砂流出の防備機能等の保全が図られるよう、豊川水源基金等既存の組織等の活用を含め関係機関との連絡調整を図り、森林の適正な管理がなされるよう努める。

また閉鎖性水域である三河湾浄化への取り組みについては、三河湾への流入河川の水質改善等、総合的な水質浄化対策が図られるよう、水質汚濁対策連絡協議会等既存の組織等の活用を含め関係機関との連絡調整を図り、必要となる浄化対策がなされるよう努める。

さらに関係機関・地域住民との連携への取り組みについては、洪水被害や渇水被害の軽減、健全な水循環系の構築、水の再利用の推進、節水の促進等渇水に強い節水型社会システムの構築等のため、豊川流域及び利水地域全体、さらには隣接する天竜川水系も視野に入れ、関係機関や地域住民等との連携の強化に努める他、沿川の開発計画や土地利用計画と河川整備との連携・調整を進め、地域づくりを支援する。

出典：豊川水系河川整備計画（大臣管理区間）